

PROGRAMME

ラウタヴァーラ：アイコン op.6

Rautavaara: Icons op.6

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第21番 ハ長調 op.53「ワルトシュタイン」

Beethoven: Piano Sonata No.21 in C major op.53, "Waldstein"

ショパン：3つのマズルカ 第33、34、35番 op.56

Chopin: 3 Mazurkas No.33, 34, 35, op.56

シューマン：幻想曲 ハ長調 op.17

Schumann: Fantasy op.17

アンティ・シーララ

ピアノ・リサイタル

ひとたびアンティ・シーララのピアノに耳を傾けると、無限に続く静謐な音楽の空間がそこに広がっていく。彼のピアノは多彩な音のパレットを持ち、透明感溢れる音色と共に豊かな陰影を描き出し、揺るぎない知性と独自の世界観でそれぞれの作品の本質的なものを抉り出していく。

フィンランドに生まれ育ったシーララのキャリアのスタートは、ウィーン・ベートーヴェン国際コンクールにおいて弱冠18歳で最年少優勝を飾り、加えて「ハンマークラヴィーア」ソナタの演奏で特別賞を受賞したことだった。その後もダブリンとリーズという著名国際ピアノ・コンクールでいずれも第1位を獲得し、一躍国際舞台で活躍する人気ピアニストとなった。実力派として世界各地で演奏活動を展開させる一方で、34歳の若さで巨匠ゲルハルト・オピッツの後を継ぎミュンヘン音楽大学の教授に就任し、その類まれなる才能を教育の分野にも広げている。

レパートリーを中心にブラームスやシューマンといったドイツ作品を据えるシーララだが、特にベートーヴェンは特別な作曲家の一人であるという。ベートーヴェンの後期三大ソナタの録音や、ピアノ・ソロとコンチェルトの全曲ツィクルスも開催し話題となった。一方で母国フィンランドの作品はもうひとつの核となっており、その描写力は見事というほかない。現代のフィンランドを代表する作曲家カレヴィ・アホは、当時まだ20代前半であったシーララを想定して「ピアノと弦楽のための協奏曲(ピアノ協奏曲第2番)」を作曲した。本作はシーララ自身のピアノでレコーディングされ、共演したオスモ・ヴァンスカ指揮/ラハティ交響楽団と名演を残している。今回演奏されるラウタヴァーラもフィンランドが誇る20世紀の大作曲家であり、シーララの冴えわたる表現力を存分に体感していただけるだろう。

深化を続けるアンティ・シーララのピアノズム。慌ただしい日常の空間から離れて、深々と心に染み入る音色に、ただただ浸ってみたい。

[全席指定] S 5,000円 / A 4,000円 / 学生 3,000円

一般発売：2018年1月15日(月)

※学生券はパシフィック・コンサート・マネジメントとトリフォニーホールチケットセンターのみのお取扱いです。

PCM パシフィック・コンサート・マネジメント

03-3552-3831 <http://www.pacific-concert.co.jp/>

トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212 (10:00-18:00)

トリフォニーホールチケットオンライン www.triphony.com

※オンライン購入にはトリフォニーホール・チケットメンバーズ(無料)へのご登録が必要です。

2018 5/1 [火] 19:00 開演 (18:30 開場)

すみだトリフォニーホール

JR&東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分/東京スカイツリータウン®より徒歩20分

主催：パシフィック・コンサート・マネジメント 共催：すみだトリフォニーホール
後援：一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ビティナ)

「アンティ・シーララの洗練された
知性溢れるピアノは、
数あるピアニストの中でも卓越しており、
素晴らしいの一言に尽きる」

—— グラモフォン誌

「音楽そのものに、メッセージが
込められているピアニストである」

—— フォノフォーラム紙

アンティ・シーララ (ピアノ) Antti Siirala, Piano

1979年ヘルシンキ生まれ。シベリウス・アカデミーでマッティ・ラエカリオ教授とイヴァリ・イルヤ教授に師事。また、内田光子やマレイ・ペライアなどからも薫陶を受ける。

1997年、第10回ウィーン・ベートーヴェン国際コンクールで最年少第1位に輝く。その際にベートーヴェンの後期ピアノ・ソナタで特別賞も受賞。2000年、ロンドン国際ピアノコンクール優勝。そして2003年、ダブリン国際ピアノコンクールとリーズ国際ピアノコンクールで優勝し、一躍、国際的な注目を浴びる。

これまでに、ヘルベルト・ブロムシュテット、フランソワ・グサヴィエ・ロト、エサ・ベッカ・サロネン、サカリ・オラモ、ネーメ・ヤルヴィ、ファビオ・ルイーダ、セミヨン・ビシュコフ、ステファン・ドヌーヴ、ティエリー・フィッシャー、ミハエル・ギーレン、オズモ・ヴァンスカ、ミッコ・フランク、ユッカ・ベッカ・サラステ、ヒュー・ウルフ、スザンナ・マルッキ、ビエタリ・インキネン、クリスチャン・ヤルヴィ、佐渡裕、大植英次等の指揮者と、ベルリン・ドイツ交響楽団、バンベルク交響楽団、hr交響楽団（フランクフルト放送交響楽団）、NDRエルブフィルハーモニー管弦楽団（NDR北ドイツ放送交響楽団）、WDR交響楽団（旧ケルン放送響）、南西ドイツ放送交響楽団、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、ウィーン交響楽団、ブダペスト祝祭管弦楽団、バーミンガム市交響楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、ハーグ・レジデンティ管弦楽団、イエテボリ交響楽団、フィンランド放送交響楽団、サンフランシスコ交響楽団、日本ではNHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、京都市交響楽団等と共演している。

また、ロンドンのウィグモア・ホール、アムステルダム・コンサートヘボウ、ニューヨークのメトロポリタン美術館、チューリッヒ・トーンハレ、ケルン・フィルハーモニー等世界のメジャー・ホールでのリサイタルのほか、ルツェルン音楽祭やルール・ピアノ・フェスティバル等の音楽祭にも出演している。2006年からはコンツェルトハウス・ドルトムントの「ユンゲ・ヴィルデ」シリーズで、3年にわたりアーティスト・イン・レジデンスを務めた。

室内楽では、ヤン・フォーグラ、モーリッツブルク祝祭アンサンブル、マーティン・フレスト、カロリン・ヴィトマン、クリスティアン・ボルテラ等と共演している。また、ベートーヴェンとブラームスがレパートリーの中心をなすが、カイヤ・サーリアホ、ヴァルター・ギーゼラー、クルダー・シンク、ウルヤス・ブルッキスなど現代作曲家の世界初演も多く手がけている。

録音の分野では、これまでに、『ブラームス作品集』（オンディーヌ）、『シューベルト：ピアノ編曲集』（ナクソス）、『シューベルト：ピアノ五重奏曲「ます」、他』（ソニー・クラシカル）、『ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第30番、第31番、第32番』（Avi ミュージック）をリリース。グラモフォン誌のエディターズ・チョイス・アワード等を受賞している。

2010年、「ベルリン・フィルハーモニック・ピアノ・リサイタル・シリーズ」のアーティストに選ばれる。このシリーズへの出演はわずか4名（シーララの他に、ピエール＝ロラン・エマル、ラン・ラン、マルティン・ヘルムヒェン）に限られたものであり、大変名誉なことである。

2013年よりゲルハルト・オピッツの後任として、ミュンヘン音楽大学の教授を務める。

■ 入場料 (税込)

[全席指定] S 5,000円 / A 4,000円 / 学生 3,000円

※学生券はバシフィック・コンサート・マネジメントとトリフォニーホールチケットセンターのみのお取扱いです。

■ お申込み・お問合せ

バシフィック・コンサート・マネジメント

03-3552-3831 <http://www.pacific-concert.co.jp/>

トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212 (10:00-18:00)

トリフォニーホールチケットオンライン www.triphony.com

※オンライン購入にはトリフォニーホール・チケットメンバーズ（無料）へのご登録が必要です。

イープラス <http://eplus.jp/>

チケットぴあ <http://pia.jp/> 0570-02-9999 (Pコード: 102-718)

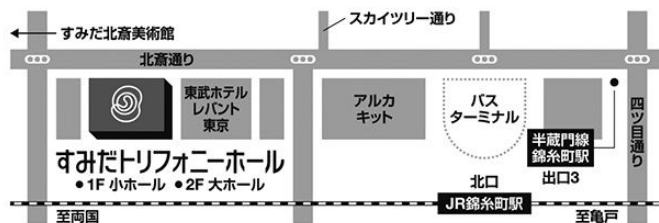
ローソンチケット <http://l-tike.com/> 0570-000-407 (Lコード: 32991)

※やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

※就学前のお子様のご入場・ご同伴はご遠慮ください。

トリフォニーホール・グレート・ピアニスト・シリーズ2018 [チョイス券]

5/1 シーララ、8/1 フレイレ、11/9 サイ、11/25 シュタットフェルト、11/27
ヴィルサーゼからS席3公演以上同時購入の場合は合計金額の15%引
(2/25(日)よりトリフォニーホールチケットセンターのみ取扱い、ご予約はお電話のみ)



すみだトリフォニーホール

JR&東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分/東京スカイツリータウン®より徒歩20分